

11月8日はいい歯の日

歯周病検診、受けていますか？

節目年齢歯科健診をご存じでしょうか。

節目年齢歯科健診とは、いつまでも健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯を失うことの予防を目的とした健康増進法に基づき市町が実施する歯周病検診で、40、50、60、70歳の男女が受診の対象となります(市町で違いがあります)。

歯周病は、歯を失う1番の原因です。生活習慣病をはじめとした全

身疾患への関与も明らかとなっており、健康寿命延伸対策の一環として、歯周病を予防することは大変重要です。自覚症状を伴わず進行することも大きな特徴で、歯周病の予防、早期発見のためにも節目年齢歯科健診はよい機会となっています。

ところが、節目年齢歯科健診の受診率は広島県全体で7.29%(2017年度)と低迷していますのでぜひ受診してください。

節目年齢歯科健診が、生涯を通じお口の健康を保ち、快適な生活と生きがいのある人生を過ごす一助となることを願っています。

お口(歯)だけじゃない 怖い歯周病

歯周病は全身の健康に
悪影響を与えます！

肺炎

歯周病菌が気管に入り込み肺炎になる。

糖尿病

歯周病がインスリンの機能を低下させ、糖尿病を悪化させる。

関節リウマチ

歯周病があると進行する。

胎児の低体重・早産

歯周病が妊娠・出産に影響を及ぼすことも。



認知症

「脳血管性」は歯周病による動脈硬化によってなり得る。また、「アルツハイマー型」も関連が示唆されている。

血管

脳梗塞

歯周病の人は、そうでない人より脳梗塞になりやすい。

動脈硬化

歯周病が動脈硬化を促す。

狭心症・心筋梗塞

歯周病で動脈硬化が進み、血管が詰まりやすくなる。

心臓

心内膜炎

心臓の弁に歯周病菌が感染して起こる。

定期的に
★
歯科健診を
★
受けましょう

●出典元：公益財団法人 8020推進財団

【からだの健康は歯と歯ぐきから ～歯周病対策から健康力アップ～】



広島県歯科医師会
イメージキャラクター
「はっぼくん」

私たちは、歯科医療と口腔健康管理の充実を通じ、健康寿命の延伸を目指します。

日本歯科医師会 <https://www.jda.or.jp> 広島県歯科医師会 <https://www.hpda.or.jp>

